

# 園長だより

十七号三十年二月  
竹鼻保育園  
園長 川出昭順

生活発表会にご来場下さいまして誠にありがとうございます。未満児・以上児と保育園として一年の締めくくりになる行事でした。いろいろな発表がありましたが、それぞれ保育士が一生懸命取り組んだものです。お子様のこの一年こんなに成長したのだということを実感していただくだけでも思います。それぞれの発表に園長挨拶がありましたので、それに手を加え掲載させていただきます。

## 未満児発表会 あいさつ

私もこのような可愛い子を孫とするお爺さんです。外孫な



もも3組の生活発表会です。とっても元気にやり終えたという雰囲気  
が伝わってきます。いい感じです。(青山写真館提供)

んですが、名古屋の幼稚園に行っている年少児と2歳児二人とも男の子です。今度の土曜日に行くねと娘から電話がありますと、2、3日前からまだ来ないかなあと首を長くして待っています。当日になると、時間を見ながらまだかなーと待ち焦がれ、来ると大喜びで大歓迎します。はじめは孫も慣れないのか借りてきた猫なんです、しばらくすると慣れてきて、兄ちゃんが弟に「ウルトラマン何々」と叫んで、弟を足蹴りにするやら、叩くやら、泣き騒ぎ、もう無茶苦茶です。何とかその騒ぎを収めるため、外に連れ出して一緒に遊ぶと何とか収まるようです。こちらにも疲れてしまい、そのうちに「もうそろそろ帰るといいなあ」と思う爺さんです。

可愛くて仕方がない面とやんちゃを言つてとことん困らせる面を持っていますね。これからの発表はとても可愛い姿です。愛らしいことこの上ない子たちです。どんなに困り果てることであろうとも、お母さんお父さんにとって可愛いのです。よくぞ生まれてくれてありがとうという気持ちではないでしょうか。この心が親子ともに成長の大きな糧となるのです。

子の成長は親にとって嬉しいことですが、小学校中学校へ行くようになると大きく変わってきます。あの可愛かった子はどこへ行ってしまったのか、と嘆く日もあります。知らず知らず、お前なんか生まれてこなかった方が良かったという言葉を発してしまうことがあります。すると、わが子は「勝手に産んで何を言うか」というとんでもない親子げんかになり、大きな傷をお互いに受けていきます。

こんな時、思い出して下さい、「よくぞ生まれてくれてありがとうございます」。今日の写真をいっぱい撮りアルバムを作ってください。十年後、二十年後、この写真を見て、この言葉を思い出して下さい。「生まれてきてくれてありがとう」わが子に対する何か違う心がきつと生まれてくるでしょう。新しい出発になるかも知れません。

## 以上児発表会 あいさつ

皆様いかがでしたか。子どもたちが大きな声で一生懸命やっている姿が素晴らしかったですね。保護者の皆様にとり、うちの子がここまでやることができるのかと感心される面もあったと思います。お家に帰ったらどうぞ褒めてあげて下さい。

私は舞台の袖にずっといて子どもたちの様子を見ていました。皆様には見えなかったと思いますが、劇が始まると舞台正面の子はスポットライトを受けて頑張っているのですが、その他の同クラスの子たちも袖で全く同じ振りをして大きな声で歌っているのです。みんなで舞台を盛り上げているのです。本当に感心するほど素晴らしいのです。私はこれを見るのが大好きです。中にはそのようないかなかった劇もありましたが、ご容赦下さい。

このような大会場で皆様に見ていただいたのですが、目に見えるお子さんの成長を受け取っていただけだと思いません。年少児の子たちは今4歳です。生まれて4年という事です。日本語を話せるようになったのは、

まだ2、3年です。その子たちが大舞台に立って、大きな声で台詞を言い、劇をやるのです。驚嘆します。年中児、年長児の発表は更に素晴らしい発表をしてくれました。

目に見える成長はご覧のように素晴らしいものがあります。しかし、それ以上に、心の成長と云っていいのでしょうか、目に見えない成長が大切なのです。目に見えることに関心がいつてしまいますが、どのようにこれらの発表が子どもたちの心の糧になっているか、つまり保育士がどのような指導をしてきたかという問題です。上手にやることばかりが先立つ指導は子どものためになるのでしょうか。子ども一人一人に目がいつているとは言いがたい面があります。全体の出来上がりに気がいきますから、子ども一人一人に心が伝わるかという少々問題があると言わざるをえません。保育士がどのように指導してきたかが問われるのです。

今回の生活発表をとおして子どもたちの心の中に保育士の暖かい心を注ぎ、自分は大切にされているという自己肯定感が育っていく、そのことが保育の命であると考えております。保育士にもこのことを言ってきたわけですから。そして、今日を迎えました。十分なことは勿論できませんが、竹鼻保育園の保育目標 仏教精神をもつて育てるといふ尊い精神を忘れないで伝えていきたいと考えております。今後とも竹鼻保育園におきましてはこのことを大切にしたい保育をいいていく覚悟でございます。本日はありがとうございます。